

文部科学大臣 殿

〔設置者の名称〕 学校法人 武庫川学院

〔代表者の役職〕 理事長 〔代表者の氏名〕 大河原 量

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	武庫川女子大学
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学)・短期大学・高等専門学校・専門学校
大学等の所在地	兵庫県西宮市池開町 6 番 46 号
学長又は校長の氏名	学長 瀬口 和義
設置者の名称	学校法人 武庫川学院
設置者の主たる事務所の所在地	兵庫県西宮市池開町 137 番地
設置者の代表者の氏名	理事長 大河原 量
申請書を公表する予定のホームページアドレス	http://www.mukogawa-u.ac.jp/

大学等における修学の支援に関する法律(以下「大学等修学支援法」という。)第 7 条第 1 項の確認を申請します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点(☑)を付けて下さい。

- この申請書(添付書類を含む。)の記載内容は、事実に相違ありません。
- 確認を受けた大学等は、大学等修学支援法に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。
- 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第 7 条第 2 項第 3 号及び第 4 号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	法人課・跡部 誠	0798-45-3512	hozin@mukogawa-u.ac.jp
第2号の1	教務課・山口 佐知子	0798-45-3598	kymuh@mukogawa-u.ac.jp
第2号の2	法人課・跡部 誠	0798-45-3512	hozin@mukogawa-u.ac.jp
第2号の3	教務課・山口 佐知子	0798-45-3598	kymuh@mukogawa-u.ac.jp
第2号の4	教務課・菅 栄太郎	0798-45-3598	kymuh@mukogawa-u.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	武庫川女子大学
設置者名	学校法人 武庫川学院

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	19,300,521,915 円	18,598,737,159 円	701,784,756 円
申請2年度前の決算	19,181,232,414 円	17,683,394,715 円	1,497,837,699 円
申請3年度前の決算	19,297,946,230 円	17,888,866,026 円	1,409,080,204 円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	102,712,505,500 円	215,614,863 円	102,496,890,637 円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	7,919 人	8,098 人	102%
前年度	7,834 人	8,182 人	104%
前々年度	7,754 人	8,445 人	108%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	武庫川女子大学
設置者名	学校法人 武庫川学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
文学部	日本語日本文学科		2		14	16	13	
	英語文化学科			13	15	13		
	教育学科			13	15	13		
	心理・社会福祉学科			13	15	13		
教育学部	教育学科				12	14	13	
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科				13	15	13	
生活環境学部	生活環境学科				14	16	13	
	食物栄養学科				13	15	13	
	情報メディア学科				14	16	13	
	建築学科				13	15	13	
音楽学部	演奏学科				13	15	13	
	応用音楽学科				13	15	13	
薬学部	薬学科				19	21	19	
	健康生命薬科学科				13	15	13	
看護学部	看護学科			13	15	13		
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページで公表 http://www.mukogawa-u.ac.jp/~kyoumuka/syllabus/2019ujitsumu.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	武庫川女子大学
設置者名	学校法人 武庫川学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学HP 事業報告書 7. 役員概要 http://www.mukogawa-u.ac.jp/~koho/j/files/pdf/financial/h30/2019zigyohoukoku.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	平成31年4月1日 ～ 令和5年3月31日	私学経営及び人事 関連法令実務
非常勤	弁護士	平成30年4月1日 ～ 令和4年3月31日	経営企画及び私立 学校法関連法令
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	武庫川女子大学
設置者名	学校法人 武庫川学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p><シラバス作成過程></p> <p>前年度</p> <p>8月 シラバス作成依頼文・作成要領の校正開始</p> <p>10月 シラバス作成要領、作成日程等を会議で諮る 会議後、各教員へシラバス作成依頼</p> <p>11月 学長より各学科長にシラバス点検依頼(予告)</p> <p>11月～1月 各教員シラバス作成</p> <p>1月 各学科長より各学科教員作成のシラバス点検・修正依頼</p> <p>2月 各学科長より学長へ点検結果報告書 提出</p> <p>3月 教育支援システムでシラバス閲覧可能</p> <p>当年度</p> <p>4月 ホームページで公表</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページ http://www.mukogawa-u.ac.jp/~kyoumuka/syllabus/2019/syl_2019.htm 教育支援システム (在籍学生はログインし、シラバスメニューを選択することで授業計画の検索が可能となる。)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の成績評価における妥当性、信頼性及び公平性を確保するために、「成績評価に関する規定」を設け、教員に配付し、周知徹底を図っている。また学部教授会や成績評価の依頼文書により成績評価の厳格化を説明している。なお、成績評価については評価の妥当性、信頼性及び公平性の観点から試験及び平素の学習状況(授業内容に関する小レポート・小テスト、口頭発表、課題及び授業への積極的な参加度など)を総合して行うものとしており、あらかじめシラバスに評価方法を明示し、その評価方法・基準に従って厳格かつ適正に評価している。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
 成績評価基準に基づき、信頼性及び公平性を確保した厳正な成績評価がおこなわれている。GPAは予め設定した算出方法により算出し、成績証明書や保護者宛て成績通知書に記載している。また学生が自らの学業成績の状況を的確に把握し、適切な履修計画とそれに基づく学習への取り込みに役立つように教育支援システム(Web)でGPAに基づいた学科内順位やクラス内順位を本人に開示している。それにより相対的な学力の状況を学生自身が確認できる。GPA算出方法は紙ベース(STUDENT GUIDE2019)及びホームページで公表している。また、令和元年度前期の成績から「科目別成績状況一覧」により、成績分布状況をホームページで公表する。

$$GPA = \frac{\text{履修登録した科目注のグレード・ポイント} \times \text{単位数}}{\text{履修登録した科目注の単位数の総和}}$$

注 履修登録した科目には、不合格科目も含む。卒業非算入科目はGPA対象外。(ただし、資格課程科目はGPAの対象となる。)

これらの取組は、全学部同様の取扱いで行われている。

添付資料「成績の分布状況を示す資料」

客観的な指標の
算出方法の公表方法

STUDENT GUIDE 2019 - *For Academic Studies* -
<http://www.mukogawa-u.ac.jp/~kyoumuka/>
 ホームページ
<http://www.mukogawa-u.ac.jp/gakuin/announce/pdf/kouhyou/seiseki01.pdf>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

以下、各学部のディプロマ・ポリシーを記載。

文学部

本学部は、人間の本质と文化的所産を人文諸科学の観点と方法により探究し、探究の過程と成果に基づき、時代と社会の要請に応じうる有為な女性を育成するために、以下の資質・能力を身につけ、所属する学科での卒業が認定された者に、専門分野の名称を付記した学士の学位を授与します。

1. 自ら課題を見つけ、解決のために実践できる。
2. 主体的に学ぶ習慣、論理的に考える力を身につけている。
3. 幅広い教養に裏付けられた豊かな心を身につけている。
4. 高い倫理観に支えられた実践力・指導力を発揮できる。
5. 専門的知識を修得し、それらを活用することができる。

教育学部

本学科では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って124単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士(教育学)の学位を授与します。

健康・スポーツ科学部

本学部では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って124単位以上を修得し、国際的な広い視野と高い倫理観を持ち、なおかつ次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士（健康・スポーツ科学）の学位を授与します。

生活環境学部

本学部には、生活環境学科、食物栄養学科、情報メディア学科、建築学科の4学科があります。本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を各学科所定の履修方法に従って124単位以上（建築学科は128単位以上）修得し、各学科で定める能力、資質を備えた者に対して、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業を認定された者には、学士の学位を授与します。

音楽学部

本学部では、高い知性、善美な情操、高雅な徳性を備え、音楽を実践する上で必要な理論に基づいた技能、知識を有し、様々な環境・文化の中で社会に貢献できる人間性をもって自立した音楽の専門家となる能力を修得し、所属する学科での審議および学部教授会を経て学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士の学位を授与します。

薬学部

武庫川女子大学の立学の精神を実現し、薬学部の教育理念およびカリキュラム・ポリシーに基づいて設定された科目を学修し、薬と健康に関わる多様な職種の専門家に必要とされる知識・技能・態度を身につけ、薬学科にあつては6年以上在籍し、卒業に必要な単位数（190単位以上）を修得した者、健康生命薬科学科にあつては4年以上在籍し、卒業に必要な単位数（124単位以上）を修得した者に対して、それぞれ卒業を認定し、「学士（薬学）」と「学士（薬科学）」の学位を授与します。

看護学部

本学部では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って127単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士（看護学）の学位を授与します。

①卒業認定にあたり、本学の定める修業年限以上在学し、履修方法に従って卒業単位数以上を修得することが前提条件となる。

②①を前提条件として学科別のディプロマ・ポリシーにより、学生が身につけるべき能力・資質の目標を明示し、目標を達成した学生に対し、教授会の意見を聞いて学長が卒業の認定をする。卒業が認定されたものには、学士の学位を授与する。なお、ディプロマ・ポリシーはホームページで公表している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページ <http://www.mukogawa-u.ac.jp/~kyoumuka/policytreemap/index.html>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	武庫川女子大学
設置者名	学校法人 武庫川学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.mukogawa-u.ac.jp/~koho/files/pdf/financial/h30/2019taisiyaku.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.mukogawa-u.ac.jp/~koho/files/pdf/financial/h30/2019sikin.pdf http://www.mukogawa-u.ac.jp/~koho/files/pdf/financial/h30/2019zigyoyou.pdf
財産目録	http://www.mukogawa-u.ac.jp/~koho/files/pdf/financial/h30/2019kansansu.pdf
事業報告書	http://www.mukogawa-u.ac.jp/~koho/files/pdf/financial/h30/2019zigyoyouhoukoku.pdf
監事による監査報告(書)	http://www.mukogawa-u.ac.jp/~koho/files/pdf/financial/h30/2019kansanzhi.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.mukogawa-u.ac.jp/gakuin/evaluation/saiten.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.mukogawa-u.ac.jp/gakuin/evaluation/hyouka.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 文学部
教育研究上の目的 (公表方法: 大学ホームページ)
(概要) 文学部は、人間の本质と文化的所産を人文諸科学の観点と方法により探究し、探究の過程と成果に基づき、時代と社会の要請に応じうる有為な女性を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 大学ホームページ)
(概要) 本学部は、人間の本质と文化的所産を人文諸科学の観点と方法により探究し、探究の過程と成果に基づき、時代と社会の要請に応じうる有為な女性を育成するために、以下の資質・能力を身につけ、所属する学科での卒業が認定された者に、専門分野の名称を付記した学士の学位を授与します。 1. 自ら課題を見つけ、解決のために実践できる。 2. 主体的に学ぶ習慣、論理的に考える力を身につけている。 3. 幅広い教養に裏付けられた豊かな心を身につけている。 4. 高い倫理観に支えられた実践力・指導力を発揮できる。 5. 専門的知識を修得し、それらを活用することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 大学ホームページ)
(概要) 文学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を持った人材を育成するために、以下に示す科目分類を設け、体系的かつバランスのとれた教育課程を編成し、個々の授業を通じて学生の資質・能力を高めます。 1. 共通教育科目 幅広い教養と的確な判断力を養うとともに、心の豊かな人間性の涵養を図ることを目的とした授業を開講し、学生は自らの選択のもと、主体的に学びます。また、総合大学の長をを活かし、様々な専門分野を背景に持つ学生同士が、答えの無い課題に取り組む授業を展開します。 2. 基礎教育科目 専門教育への導入的役割を担う授業を開講します。全学的に実施している「初期演習」では、学生が主体的に学び、実践する姿勢を身につける他、学生相互の豊かで円滑な人間関係の基礎を養います。「初期演習」以外の科目では、専門分野の学びの基礎となる知識の修得と倫理感を育成する教育を行います。 3. 専門教育科目 専門知識を学び、学んだ知識を活用する能力を身につける授業を開講します。各科目で学んだ知識を統合し、自らの考えを論理的に説明するとともに、実践に繋げていくことのできる能力を修得します。専門教育科目で学んだ知識、技術を統合し、最終的には卒業論文として表現します。 4. 教職、司書、司書教諭及び学芸員に関する科目 各学科において主として育成する資質・能力に加え、将来の進路を視野に入れた資格関連科目を開講し、それぞれの資格と結びつく専門的職業に必要な知識と能力を修得します。 5. 特別教育科目 各学科において主として要請する資質・能力に加え、学生が社会とのつながりを強く意識し、女性として社会で活躍するためのキャリア形成を補完・拡充します。 教育課程の編成にあたっては、開講学年・配当学期・科目ナンバリングをあらかじめ示すことで科目間の順次性・体系性を担保します。また、開講科目に設定される知識と技術を習得し、それらを活用するための能力を育成するために授業の運営は、講義だけにとどまらず、学生を能動的な姿勢に導く教育手法を活用します。 各科目の学修成果の測定と評価にあたっては、あらかじめ評価指標を明示し、適切・公

<p>正な評価を実施します。また、卒業論文をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生募集要項、ホームページ公開）</p> <p>（概要）</p> <p>武庫川女子大学文学部は、「立学の精神」にうたわれる“高い知性”、“善美な情操”、“高雅な徳性”を兼ね備えた有為な女性を育成するために、大学生活を通してディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を養い、主体性・論理性・実行力を培う教育を実践します。その趣旨に賛同すると共に、入学前に以下の能力を有する女性の入学を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校までの教育課程を幅広く修得し、基礎学力を有している。 2. 人文諸科学の勉学に積極的に励む姿勢を持っている。 3. 将来に向けて明確な目的意識を持っている。 4. 感性豊かな心と健やかな体を養っている。 5. 多様な人々と協同して学ぶ態度を有している。 <p>また、開設する学科のそれぞれの専門性やディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を持つ人材像に対応する、透明性の高い公正な入学者の選抜試験を複数の機会及び方法で行います。</p>

<p>学部等名 教育学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ）</p> <p>（概要）教育学部は、立学の精神と教育推進宣言に則り、平和で民主的な社会の形成者として、幅広い教養と豊かな人間性を備えるとともに、時代と社会の要請に応えつつ高度化していく教育・保育を担える有為な女性の育成を目的とする。</p> <p>この目的を実現するために、教育学・保育学の優れた知見を広く学び、その応用と研究により学びを深めることを通じて、国内・国外の様々な教育・保育の場において必要とされる優れた実践的指導力、高い意欲及び創造性を養う。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ）</p> <p>（概要）本学部では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って 124 単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士（教育学）の学位を授与します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ）</p> <p>（概要）本学部は、学生一人ひとりが自らのキャリアプランに則して履修することで、幅広い教養と奥深い専門的知識に基づく思考力や判断力を養い、教育・保育実践のために必要な熱意や責任感、そして技能を身につけることをめざします。本学科が掲げる教育目標とディプロマ・ポリシーを達成するため、「小学校教育コース」、「小学校・中学校教育コース（国語専修・英語専修）」、「幼児教育・保育コース」及び「国際教育コース」という4つのコースを設け、「共通教育科目」「基礎教育科目」「専門教育科目」にわたって、「学科演習科目」「初年次コース共通科目」、各コースごとの「基礎プログラム」「発展プログラム」等からなる教育課程を編成します。</p> <p>「共通教育科目」は、現代の教育・保育を支える幅広い教養的知識を身につけ、的確な判断力を養うとともに、人間性の涵養を図るための科目群です。</p> <p>「学科演習科目」は、1年次から4年次までを通して、クラス担任またはゼミ担当教員の指導のもと、問題や課題を解決する力とともに、学生が自ら調べ、考え、まとめ、表現する能力を養う科目群です。</p> <p>「初年次コース共通科目」は、1年次に開講され、現代の教育・保育を支える幅広い教養的知識を身につけ、的確な判断力を養うとともに、人間性の涵養を図るための科目群です。</p> <p>「基礎教育科目」は、主に1年次に開講され、外国語運用能力や情報処理能力、健康や運動に関する知識や技能など、学士として必ず身につけておかなければならない資質の基</p>

礎を養う科目群です。また、4つのコースに分かれる前の共通科目として開設され、教育者・保育者になるための基礎となる科目群です。

「専門教育科目」は、主に2年次以降に開設され、4つのコースに分かれて履修します。全コースに、「基礎プログラム」と「発展プログラム」が設けられています。

「基礎プログラム」は、小学校、中学校あるいは幼稚園教諭としての知識・技能・態度を身につけるため、教育職員免許法に基づいた必修科目及び選択科目で構成されています。

「発展プログラム」は、一人ひとりの「強み」を育てるために選択必修あるいは選択科目により構成されています。それぞれのコースにおいては、教育に関する基礎理論や教科内容論に関する科目、保育内容の基礎的科目をはじめとして教科指導法などの応用的・実践的な科目や、より専門的な内容の科目への履修へと進み、さらに教育・保育実習、教職実践演習を履修するというように、適切な順序性をもって開講期を設定します。

発展プログラムでは、学生自らが「強み」を身につけるために主体的に選択して学べるように、いずれのコースにおいても多彩な選択科目を開講します。副免許・資格プログラムとして、小学校教育コースには「幼稚園教育プログラム」と「特別支援教育プログラム」を、「幼児教育・保育コースには「保育士プログラム」を、「国際教育コース」には「中学校教育（英語）プログラム」を設け、教育職員免許法・児童福祉法施行規則に基づいた科目を履修できるようにします。ただし、各コースで学ぶべきことを適切な順序性を持って学べるように、基礎免許のための必修科目は3年次後期の「教育実習」までに集中的に学び、副免許のための必修科目は主に3年次後期から4年次にかけて履修できるように開講期を設定します。

国際教育コースには、グローバル化に伴う教育ニーズや教育環境の変化に応える人材を育成するため、多文化共生社会への移行、国際的な教育援助、海外（帰国）子女教育、グローバル・シティズンシップ教育を担い、国際的に貢献できる教育者を養成する「国際教育プログラム」を設けます。

2年次後期には、希望者を対象に、海外の教育を体験的に学び、英語運用能力を高めるMFWI 留学プログラムがあります。

教育課程全般を通じて、グループ・ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等のアクティブ・ラーニングの教育方法も活用し、学生の理解と実践力を高めます。

教育課程の評価については、卒業研究および教員免許に係る実践演習科目における学修状況をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生募集要項、ホームページ公開）

（概要）

武庫川女子大学文学部は、「立学の精神」にうたわれる“高い知性”、“善美な情操”、“高雅な徳性”を兼ね備えた有為な女性を育成するために、大学生活を通してディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を養い、主体性・論理性・実行力を培う教育を実践します。その趣旨に賛同すると共に、入学前に以下の能力を有する女性の入学を求めます。

1. 高等学校までの教育課程を幅広く修得し、基礎学力を有している。
2. 人文諸科学の勉学に積極的に励む姿勢を持っている。
3. 将来に向けて明確な目的意識を持っている。
4. 感性豊かな心と健やかな体を養っている。
5. 多様な人々と協同して学ぶ態度を有している。

また、開設する学科のそれぞれの専門性やディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を持つ人材像に対応する、透明性の高い公正な入学者の選抜試験を複数の機会及び方法で行います。

学部等名 健康・スポーツ科学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ）
（概要）健康・スポーツ科学部は、科学的知識に裏づけられた体育・スポーツの研究とその実践を通して、心身の健康並びに体力の保持増進について指導的役割を担う、幅広い分野の健康・スポーツに関わる指導者、保健体育に関わる教育者を養成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ）
（概要）本学部では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って124単位以上を修得し、国際的な広い視野と高い倫理観を持ち、なおかつ次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士（健康・スポーツ科学）の学位を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ）
<p>（概要）本学部では、学校や企業、地域社会で活躍できる優れた健康・スポーツの実践者・指導者・管理者を育成するための、最新のスポーツテクノロジー・医科学理論・指導理論・マネジメント理論を踏まえた適切で正しい実践・指導・管理法を、科学的・専門的に学ぶことができます。</p> <p>本学部ではディプロマ・ポリシーを達成するために、次の方針で教育課程を編成します。</p> <p>健康・スポーツに関わる実践者・指導者・管理者に必要な基礎理論と技術を講義・演習科目で学び、それに基づく技能を学内実習科目で磨き、最終的には学外の現場実習科目で応用するという、段階的・発展的な学習ができる科目配置を行っています。また、健康・スポーツに関する知識と技能を体系的に学修するために、学科開講科目に「学科共通」科目と「スポーツ教育領域」「スポーツ科学領域」「スポーツマネジメント領域」「健康スポーツ領域」の4つの領域科目を設定します。</p> <p>「学科共通科目」健康・スポーツ科学を学ぶ者に共通して必要となる、基礎的・専門的知識および技能を身につけることができます。</p> <p>「スポーツ教育領域科目」中学・高等学校保健体育科教員を目指す者に必要な、充実した体育授業を実践できるための理論と技術を身につけることができます。</p> <p>「スポーツ科学領域科目」コーチやアスレティックトレーナーを目指す者に必要な、競技力向上のための優れたコーチングとトレーニング指導、スポーツ傷害・外傷予防の理論と技術を身につけることができます。</p> <p>「スポーツマネジメント領域科目」スポーツビジネスを目指す者に必要な、経営・企画・販売・管理の理論と技術を身につけることができます。</p> <p>「健康スポーツ領域科目」健康運動指導士や健康運動実践指導者を目指す者に必要な、スポーツ、運動、身体活動を通じた健康支援の理論と技術を身につけることができます。</p> <p>また、学びの方向および卒業後の進路等を意識させるために、2年次より、「スポーツ教育コース」「スポーツ科学コース」「スポーツマネジメントコース」の3コースを設けています。各コースに設置された特色科目を学ぶことによって、より専門的に、より実践的に、優れた健康・スポーツのリーダーを育成します。</p> <p>「学科共通科目」および「健康スポーツ領域科目」は、3コースいずれでも履修できます。</p> <p>なお、資格のうち、アスレティックトレーナーは「スポーツ科学コース」に所属した者のみが取得可能です。</p> <p>さらに、このような通常学期のカリキュラム以外に、特別学期における学科プログラムにあっては、健康・スポーツ科学演習やその予備演習、教職や各種資格の試験対策講座を開講します。</p> <p>本学部では、以上の教育課程全般において積極的にアクティブラーニングを取り入れて能動的に学修する態度を養い、各科目における「知識・理解」「技能・表現」「思考・判断」「態度・志向性」の枠組みで示した能力・資質についての評価および卒業研究によってディプロマ・ポリシー達成の評価を総括的に行います。</p>

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生募集要項、ホームページ公開）</p> <p>（概要）</p> <p>本学部は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>本学部は、「Sports for All の時代をリードできる人」を養成するという教育目的を持っています。したがって、健康・スポーツを科学的・専門的に学ぼうとする強い意欲を持ち、次のような現場において活躍・貢献しようとする学生の入学を求めます。</p> <p>①教育および生涯学習における運動指導現場において、健康・スポーツ教育の充実に貢献しようとする者</p> <p>②競技スポーツにおけるジュニア期以降のスポーツ指導・サポート現場において、優れたコーチングとトレーニング指導によって競技力向上に貢献しようとする者</p> <p>③地方自治体や企業・民間のスポーツ施設における施設・プログラム管理現場、医療・福祉施設・幼児施設等における運動・フィットネス指導現場において、スポーツ・運動・身体活動を通じた健康支援に貢献しようとする者</p> <p>④スポーツ関連の企業や団体、スポーツイベントの企画・運営などのスポーツビジネス分野で活躍しようとする者</p> <p><入学時まで身に付けてほしい学力・能力></p> <p>本学部は、競技力の向上や健康で豊かな社会の構築に関わる幅広い指導者養成のため、健康・スポーツを科学的・専門的に探求する多様な学修を展開しています。そこで主体的な勉学の習慣に加えて、大学入学時まで、次のような学力や能力、スポーツの実践力を研ぎ、入学後の学修に臨むことを求めます。</p> <p>1) 知識・技能および思考力・判断力・表現力</p> <p>①国語や英語等で学ぶ読解力・構成力・論理的表現力と、そこから得られるコミュニケーション力</p> <p>②地理歴史や公民等で学ぶ基礎的な知識と、そこから得られる社会を読み解く力</p> <p>③数学や理科等で学ぶ基礎的な知識と、そこから得られる論理的・科学的な思考力</p> <p>2) 主体性を持って多様な人々と協働する力</p> <p>①集団活動における主体性、コミュニケーション力、リーダーシップ、高い倫理観</p> <p>3) 体育やスポーツ分野における実践力</p> <p>①各種スポーツの技術・技能、スポーツの実践力とそれに係る体力、スポーツ実践の経験知</p>

<p>学部等名 生活環境学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ）</p> <p>（概要）生活環境学部は、人間が生活空間において生き、情報を利用して多様な生活を選び、さらに快適で美的な生活環境を築く知識と知恵を生み出すことのできる有為な女性を育成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ）</p> <p>（概要）本学部には、生活環境学科、食物栄養学科、情報メディア学科、建築学科の4学科があります。本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を各学科所定の履修方法に従って124単位以上（建築学科は128単位以上）修得し、各学科で定める能力、資質を備えた者に対して、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業を認定された者には、学士の学位を授与します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ）</p>

<p>(概要) 各学部においてディプロマ・ポリシーを達成するために、各学科分野について、多様な方向からアプローチしていくとの方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校までの学習知識を基に、各学科での専門知識へスムーズに移行できるよう、体系だったカリキュラム編成をおこなっています(建築学科は6年一貫の教育課程を編成。) ・生活環境分野において、社会において、指導的立場となる人間力を身につけるため、全学的な共通教育の受講を奨励しています。 ・日本を代表する生活環境文化を育ててきている〈阪神間〉に立地する大学の特色を生かし、地域連携的教科目(例えば、フィールドワーク科目や、地域を教材とした課題など)を特色としています。 ・双方向的学修(例えばゼミ)を重視し、原則4年間の学修の集大成として卒業研究(論文・制作・設計など)を必須としています。
<p>入学者の受入れに関する方針(公表方法:学生募集要項、ホームページ公開)</p> <p>(概要)</p> <p>人間が快適で美的な生活環境を築く知識と知恵を生み出すことを目的に〈衣・住・情報〉の分野を学ぶ本学部は、生活環境学科、食物栄養学科、情報メディア学科、建築学科の4学科より構成し、次のような資質をもつ入学者を受け入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「立学の精神」とそれに基づいて教育目標に賛同し、生活を科学的に考え、生活をより豊かにすることに関心のある女性を求めます。 ・さらに各学科が定める卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)および教育課程編成実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、各学科が掲げる知識・技能・意欲を備えた女性を求めます。

<p>学部等名 音楽学部</p>
<p>教育研究上の目的(公表方法:大学ホームページ)</p> <p>(概要) 音楽学部は、理論と実践を通じて、音楽知識・技術及び東西文化の普遍的な美的価値観を追求するとともに、音楽応用を探究し、文化・社会の発展に寄与する音楽家をはじめ、音楽の指導者、音楽応用の専門家を育成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針(公表方法:大学ホームページ)</p> <p>(概要) 本学部では、高い知性、善美な情操、高雅な徳性を備え、音楽を実践する上で必要な理論に基づいた技能、知識を有し、様々な環境・文化の中で社会に貢献できる人間性をもって自立した音楽の専門家となる能力を修得し、所属する学科での審議および学部教授会を経て学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士の学位を授与します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針(公表方法:大学ホームページ)</p> <p>(概要) 本学部では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、音楽の専門家養成の方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>音楽を用いて社会を豊かにするため、音楽関連科目を主軸にした幅広い分野を総合的に学習するカリキュラムを組みます。</p> <p>基礎教育科目においては語学や情報処理・活用のスキルなどの向上を目指す科目のほか、アクティブ・ラーニングにより論理的思考力やコミュニケーション力を高める科目を設定します。</p> <p>専門教育科目では音楽実技や理論、音楽史などを専修に応じて演習や実習を含む様々な形で学習します。</p> <p>社会に貢献できる女性を育成するため、系統的に科目を設定します。学習を積み重ねることによって、社会で活動する上で必要な音楽的技術や知識を身に付けさせます。</p> <p>卒業時の卒業演奏や卒業論文をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p>

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生募集要項、ホームページ公開）</p> <p>（概要）本学部は「立学の精神」や教育目的に賛同し、本学部の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、つぎに掲げる知識や技能、意欲を備えた女性の入学を求めます。</p> <p>①音楽を深く愛する心と明確な目的意識を有している。</p> <p>②幅広い教養と基礎学力を有し、音楽に関する専門家として社会に貢献したいという強い意欲を持っている。</p> <p>③高度な専門性と深い知識や技術、教養を身につけるために、勉学に励み研鑽を積み積極性を持っている。</p> <p>④人間性およびバランスのとれた国際感覚を備えた音楽に関する専門家を目指す意欲を持っている。</p>

<p>学部等名 薬学部</p>

<p>教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ）</p>

<p>（概要）薬学部は、幅広い教養と人間性豊かな専門知識を基盤として、医療と薬並びに健康に関する多様な分野で、医療人としての薬剤師をはじめ、薬の創製・管理、衛生薬学、薬事行政などの諸活動を通して、薬学に課せられた社会的使命を遂行し得る有為な女性を養成することを目的とする。</p>
--

<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ）</p>

<p>（概要）武庫川女子大学の立学の精神を実現し、薬学部の教育理念およびカリキュラム・ポリシーに基づいて設定された科目を学修し、薬と健康に関わる多様な職種の専門家に必要とされる知識・技能・態度を身につけ、薬学科にあっては6年以上在籍し、卒業に必要な単位数（190単位以上）を修得した者、健康生命薬科学科にあっては4年以上在籍し、卒業に必要な単位数（124単位以上）を修得した者に対して、それぞれ卒業を認定し、「学士（薬学）」と「学士（薬科学）」の学位を授与します。</p>
--

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ）</p>

<p>（概要）本学部ではディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような人材養成の方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>教育目標を実現し、薬に関する幅広く高度な専門知識と優れた臨床能力を兼ね備えた薬剤師、高度な薬学的専門知識と科学的思考力を身につけ、薬学分野で広く研究・技術開発等に貢献できる多様な研究者・技術者人材を育成するために、教養科目、語学教育科目、基礎科学科目に続いて、年次的に専門性を高め、卒業後のキャリアに直結した「学習成果基盤型教育（outcome based education）」を実施します。</p> <p>教育課程全般を通じて、通常の講義科目だけでなく、実習、問題演習、双方向型授業といった教育手法を活用し、学生の理解を高めます。</p> <p>また、教育課程の評価については、卒業年次に提出する卒業研究論文等をもって教育課程を通じた学習成果の総括的評価を行います。</p>
--

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生募集要項、ホームページ公開）</p>
--

<p>（概要）</p> <p>本学部は「立学の精神」とそれに基づく教育目標に賛同し、かつ修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）およびその教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>1) 自主的・積極的に勉学する態度や習慣、考える力を身につけ、生涯にわたり勉学を続ける意欲がある。</p> <p>2) 人を思いやり、人のために尽くす精神を有し、常に自己を磨くことに努力を惜しまない。</p> <p>3) 自然科学への強い関心と探求する心を持ち、科学的事実に基づいて自らの考察と行動をすることに努力する。</p>
--

4) 薬剤師業務、新薬の創製・開発、医薬品の管理・情報提供、衛生薬学そして薬事行政などの職業に魅力を感じ、これらの職業を通して人のために貢献しようとする情熱がある。
 5) 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎科学力と英語力を身につけている。

学部等名 看護学部
教育研究上の目的 (公表方法：大学ホームページ)
(概要) 看護学部は、豊かな人間性に裏づけられた感性を生かし、様々な健康レベルの人々(患者)を生活者としてとらえ、豊かな人間性と高い倫理観、科学的根拠に裏づけられた行動力をもって、心身両面にわたってトータルケアのできる未来志向の看護実践者を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法：大学ホームページ)
(概要) 本学部では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って127単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士(看護学)の学位を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：大学ホームページ)
(概要) (概要) 本学部ではディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような教育内容に基づき、以下の3つからカリキュラムを編成します。 1. 「共通教育科目」 ・人の生活や生命、それを取り巻く社会や文化・環境といった幅広い教養を学び視野を広げる科目・看護を行う上で必要不可欠な科学的な思考、論理的な思考力、コミュニケーション能力を身につける科目 ・女性として社会人としてキャリアを積み上げていくために必要な基本的態度を身につける科目 2. 「基礎教育科目」 ・人の身体を理解し、健康や病気、障害に関する観察力や判断力を養うとともに、看護を行うときの根拠や必要性を考慮することができる科目・人の健康や障害の状態に応じて活用できる保健医療福祉サービスを理解するための科目 ・看護を学ぶ基礎として、保健医療の関連情報の分析や国際的な視野で情報を得るための情報活用技術や英語力を身につけるための科目 3. 「専門教育科目」 ・高度先進医療から在宅医療に至るまでの治療の目的を理解する科目・生活者としての人を支えるために必要となる知識と技術を学修する科目 ・必要な看護実践を計画し、看護実践能力を育成する科目 教育課程全般を通じて、講義・演習・実習といった授業形態により看護学の知識、技術、態度の要素を統合的に養います。 各専門科目それぞれで対象者の人権尊重などの倫理的な視点および行政・施策に関する内容が含まれます。 また、教育課程については統合看護学実習と修了年次に提出する卒業論文、卒業論文の研究発表・討議をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。 こうした看護学の学習により、本学科が目指すところである援助の対象者を「生活者」と捉えて、生活の質(QOL)と治癒の促進を考慮しながら科学的な根拠に基づいた看護を導くための基盤づくりを可能とします。 なお、本学科では所定の授業科目を修得することで、看護師の国家試験受験資格を得ることができます。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生募集要項、ホームページ公開）

（概要）

本学が掲げる目的・目標（「立学の精神」）や伝統を理解し、明確な目的意識を持って、高度な専門性を要する看護師に必要な知識・技術および医療専門職者として自立する力を積極的に獲得しようとする者を求めています。

〈求める人材像〉

1. 看護師として保健・医療・福祉分野へ貢献する意欲がある人
2. 人の気持ちや考え方を尊重し、人間関係を築こうとする行動力のある人
3. 自ら進んで学習を続けていける人
4. 柔軟な考え方ができ、看護を探究していける人
5. 人間の理解の基本となる基礎学力（生物・化学・数学・英語等）を身につけた人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページに「大学情報の公表」として掲載している

<http://www.mukogawa-u.ac.jp/gakuin/announce/kouhyou.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
文学部	—	26人	17人	5人	2人	0人	50人
教育学部	—	12人	9人	6人	0人	1人	28人
健康・スポーツ科学部	—	10人	6人	1人	0人	0人	17人
生活環境学部	—	38人	33人	7人	5人	20人	103人
音楽学部	—	8人	6人	1人	0人	0人	15人
薬学部	—	25人	13人	8人	7人	20人	73人
看護学部	—	10人	10人	3人	17人	0人	40人
共通教育部	—	4人	2人	1人	0人	0人	7人
教育研究所	—	3人	1人	0人	0人	1人	5人
発達臨床進学研究所	—	0人	0人	0人	0人	1人	1人
言語文化研究所	—	0人	0人	0人	1人	0人	1人
生活美学研究所	—	0人	0人	0人	0人	1人	1人
情報教育研究センター	—	0人	0人	0人	0人	1人	1人
バイオサイエンス研究所	—	0人	0人	0人	1人	0人	1人
国際健康開発研究所	—	1人	0人	0人	0人	0人	1人
トラコ文化研究センター	—	0人	0人	0人	0人	1人	1人
健康運動科学研究所	—	0人	0人	0人	0人	1人	1人
栄養科学研究所	—	0人	0人	0人	0人	1人	1人
学校教育センター	—	7人	0人	1人	1人	0人	9人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		470人					470人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学ホームページ http://www.mukogawa-u.ac.jp/gakuin/gyoseki/gyoseki.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
学長の下、委員長・副委員長以下、各学科及び事務部門から選出された委員で構成されたFD推進委員会（平成20年1月に組織）を中心として、教員の資質向上や、主体的・恒常的に行う授業の内容及び方法の改善・向上に資する全学的な取組みを行っている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
文学部	510人	567人	111%	2,899人	2,994人	103%	92人	96人
教育学部	240人	218人	90%	240人	218人	90%	0人	0人
健康・スポーツ科学部	180人	193人	107%	665人	719人	108%	20人	15人
生活環境学部	555人	585人	105%	2,175人	2,227人	102%	30人	34人
音楽学部	50人	50人	100%	200人	178人	89%	0人	0人
薬学部	250人	230人	92%	1,420人	1,430人	100%	0人	0人
看護学部	80人	74人	92%	320人	332人	103%	0人	0人
合計	1,865人	1,917人	102%	7,919人	8,098人	102%	142人	145人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数		
		進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
文学部	879人 (100%)	24人 (2.7%)	799人 (90.9%)	56人 (6.4%)
健康・スポーツ科学部	186人 (100%)	9人 (4.8%)	156人 (83.9%)	21人 (11.3%)
生活環境学部	597人 (100%)	42人 (7.0%)	530人 (88.8%)	25人 (4.2%)
音楽学部	44人 (100%)	7人 (15.9%)	34人 (77.3%)	3人 (6.8%)
薬学部(6年制)	231人 (100%)	0人 (0.0%)	187人 (81.0%)	44人 (19.0%)
薬学部(4年制)	51人 (100%)	9人 (17.6%)	42人 (82.4%)	0人 (0.0%)
看護学部	84人 (100%)	3人 (3.6%)	79人 (94.0%)	2人 (2.4%)
合計	2,072人 (100%)	94人 (4.5%)	1,827人 (88.2%)	151人 (7.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(進学先) 武庫川女子大学大学院、神戸大学大学院、大阪府立大学大学院、大阪市立大学大学院 (就職先) 兵庫県、神戸市、大阪府、大阪市、学校法人兵庫医科大学、横浜市、日本郵政グループ、独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)、住友生命保険相互会社、明治安田生命保険相互会社、株式会社キタムラ、奈良県、日本航空株式会社、姫路市、株式会社三菱UFJ銀行、リゾートトラスト株式会社、株式会社コーセー、住友電気工業株式会社、西宮市、大阪府警察、日本生命保険相互会社、日本赤十字社、住友林業ホームテック株式会社、株式会社関西みらい銀行、ANA大阪空港株式会社、積水ハウス株式会社、大和ハウス工業株式会社、沖電気工業株式会社 等				
(備考) 就職先は3人以上の就職実績があり、採用の多い順からピックアップ				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
文学部	822人 (100%)	782人 (95.1%)	1人 (0.1%)	20人 (2.4%)	19人 (2.3%)
健康・スポーツ科学部	175人 (100%)	164人 (93.7%)	0人 (0%)	7人 (4.0%)	4人 (2.3%)
生活環境学部	578人 (100%)	550人 (95.1%)	0人 (0%)	16人 (2.8%)	12人 (2.1%)
音楽学部	48人 (100%)	41人 (85.4%)	0人 (0%)	7人 (14.6%)	0人 (0%)
薬学部	264人 (100%)	197人 (74.6%)	28人 (10.6%)	17人 (6.4%)	22人 (8.3%)
看護学部	86人 (100%)	84人 (97.7%)	0人 (0%)	0人 (0%)	2人 (2.3%)
合計	1,973人 (100%)	1,818人 (92.1%)	29人 (1.5%)	67人 (3.4%)	59人 (3.0%)
(備考) 2015年度入学者(4年制) 2013年度入学者(6年制) 留年に原級留置含む 中途退学者に除籍者含む 留年していない卒業延期者はその他 転学部・転学科をした学生は転学部・転学科先の入学者数に含める(文部科学省に確認)。 薬学部では薬学科で設定している進級要件に満たなかった学生が留年となっている。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)	
<シラバス作成過程> 前年度 8月 シラバス作成依頼文・作成要領の校正開始 10月 シラバス作成要領、作成日程等を会議で諮る 会議後、各教員へシラバス作成依頼 11月 学長より各学科長にシラバス点検依頼(予告) 11月～1月 各教員シラバス作成 1月 各学科長より各学科教員作成のシラバス点検・修正依頼 2月 各学科長より学長へ点検結果報告書 提出 3月 教育支援システムでシラバス閲覧可能 当年度 4月 ホームページで公表	

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 授業科目の成績評価における妥当性、信頼性及び公平性を確保するために、「成績評価に関する規定」を設け、配付し、教員に周知徹底を図っている。また学部教授会や成績評価の依頼文書により成績評価の厳格化を説明している。なお、成績評価については評価の妥当性、信頼性及び公平性の観点から試験及び平素の学習状況(授業内容に関する小レポート・小テスト、口頭発表、課題及び授業への積極的な参加度など)を総合して行うものとしており、あらかじめシラバスに評価方法を明示し、その評価方法・基準に従って厳格かつ適正に評価している。

また、卒業又は修了の認定に当たっての基準については、

①卒業又は修了認定にあたり、本学の定める修業年限以上在学し、履修方法に従って卒業単位数以上を修得することが前提条件となる。

②①を前提条件として学科別のディプロマ・ポリシーにより、学生が身につけるべき能力・資質の目標を明示し、目標を達成した学生に対し、教授会の意見を聞いて学長が卒業の認定をする。卒業が認定されたものには、学士の学位を授与する。なお、ディプロマ・ポリシーはホームページで公表している。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
文学部	日本語日本文学科	124 単位	有	49.5 単位
	英語文化学科	124 単位	有	49.5 単位
	教育学科	124 単位	有	49.5 単位
	心理・社会福祉学科	124 単位	有	49.5 単位
教育学部	教育学科	124 単位	有	49.5 単位
健康・スポーツ 科学部	健康・スポーツ 科学科	124 単位	有	49.5 単位
生活環境学部	生活環境学科	124 単位	有	49.5 単位
	食物栄養学科	124 単位	有	49.5 単位
	情報メディア学科	124 単位	有	49.5 単位
	建築学科	128 単位	有	49.5 単位
音楽学部	演奏学科	124 単位	有	49.5 単位
	応用音楽学科	124 単位	有	49.5 単位
薬学部	薬学科	190 単位	有	49.5 単位
	健康生命薬科学科	124 単位	有	49.5 単位
看護学部	看護学科	127 単位	有	49.5 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : ホームページに「大学情報の公表」として掲載している
<http://www.mukogawa-u.ac.jp/gakuin/announce/kouhyou.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考
文学部	日本語日本文学科				
	(1年次)	895,000円	200,000円	200,000円	教育充実費
	(2年次)	895,000円	—円	200,000円	教育充実費
	(3,4年次)	895,000円	—円	178,000円	教育充実費、学生研修費
	英語文化学科				
	(1年次)	895,000円	200,000円	200,000円	教育充実費
	(2年次)	895,000円	—円	200,000円	教育充実費
	(3,4年次)	895,000円	—円	178,000円	教育充実費、学生研修費
	教育学科				
	(2年次)	995,000円	—円	230,000円	教育充実費
	(3,4年次)	995,000円	—円	208,000円	教育充実費、学生研修費
	心理・社会福祉学科				
(1年次)	995,000円	200,000円	230,000円	教育充実費	
(2年次)	995,000円	—円	230,000円	教育充実費	
(3,4年次)	995,000円	—円	208,000円	教育充実費、学生研修費	
教育学部	教育学科				
	(1年次)	995,000円	200,000円	230,000円	教育充実費
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科				
	(1年次)	995,000円	200,000円	250,000円	教育充実費、野外実習費
	(2年次)	995,000円	—円	250,000円	教育充実費、野外実習費
	(3,4年次)	995,000円	—円	208,000円	教育充実費、学生研修費
生活環境学部	生活環境学科				
	情報メディア学科				
	(1年次)	995,000円	200,000円	250,000円	教育充実費
	(2年次)	995,000円	—円	250,000円	教育充実費
	(3,4年次)	995,000円	—円	228,000円	教育充実費、学生研修費
	食物栄養学科				
	(1年次)	995,000円	200,000円	300,000円	教育充実費、実験実習費
	(2年次)	995,000円	—円	296,000円	教育充実費、実験実習費
	(3,4年次)	995,000円	—円	274,000円	教育充実費、実験実習費、学生研修費
建築学科					
(1年次)	1,100,000円	200,000円	360,000円	教育充実費、実験実習費	
(2年次)	1,100,000円	—円	360,000円	教育充実費、実験実習費	
(3,4年次)	1,100,000円	—円	338,000円	教育充実費、実験実習費、学生研修費	
音楽学部	演奏学科				
	(1年次)	1,370,000円	200,000円	330,000円	教育充実費
	(2年次)	1,370,000円	—円	330,000円	教育充実費
	(3,4年次)	1,370,000円	—円	308,000円	教育充実費、学生研修費
	応用音楽学科				
	(1年次)	1,370,000円	200,000円	350,000円	教育充実費、実務実習費
(2年次)	1,370,000円	—円	330,000円	教育充実費	
	(3,4年次)	1,370,000円	—円	308,000円	教育充実費、学生研修費

薬学部	薬学科				
	(1年次)	1,502,000円	200,000円	362,000円	教育充実費
	(2年次)	1,502,000円	—円	458,000円	教育充実費、実験実習費
	(3～6年次)	1,502,000円	—円	436,000円	教育充実費、実験実習費、学生研修費
	健康生命薬科学科				
	(1年次)	1,130,000円	200,000円	370,000円	教育充実費
(2年次)	1,130,000円	—円	530,000円	教育充実費、実験実習費	
(3,4年次)	1,130,000円	—円	508,000円	教育充実費、実験実習費、学生研修費	
看護学部	看護学科				
	(1年次)	1,347,000円	200,000円	328,000円	教育充実費
(2～4年次)	1,347,000円	—円	303,000円	教育充実費、学生研修費	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 教務部では、授業や履修、試験、学籍、成績などの業務を行い、学生の修学に必要な情報を公表・サポートしている。国際センターは、海外で学びたい学生をサポート。また、学生と留学生の交流支援なども実施。外国語教育推進室は学生の外国語運用能力向上のための支援を行っている。附属図書館では、教育・研究活動を支援するために学術情報基盤の構築を遂行。館内利用の情報に加え、電子情報の提供促進も図っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリアセンターでは入学直後から段階的キャリア支援を実施。タイムリーな情報提供と、個別就職相談でのきめ細かな指導で就職活動をサポートしている。教務課では「編入学」の募集情報や手続き・試験の実施内容等を掲載した資料を公開。学校教育センターは教員免許状・保育士資格の取得、採用選考試験合格や就職をサポートしている。また、大学卒業後、学部で身に付けた教養をさらに深めるため、また専門の学問を究めるために、大学院へ進学する学生への情報提供も行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 健康サポートセンターは、健康診断や健康相談を通じて、疾病の早期発見・予防に努め、健康な生活を送れるようサポートを実施。学生相談センターでは、学生相談およびグループ・プログラム等を通して、学生生活におけるこころの健康と成長を目指した支援を行っている。また、学生サポート室を設け、授業や学生生活でサポートを必要とする学生の相談を受け、ノートテイク・移動サポートなどのスタッフを募集・育成している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページに「大学情報の公表」として掲載している http://www.mukogawa-u.ac.jp/gakuin/announce/kouhyou.html
